

宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（令和元年度・第2回）議事概要

日 時 令和元年6月12日（水）14：00～16：00

場 所 市役所3階 3-3会議室

出席者 仁川まちづくり協議会 綿 昭人会長
宝塚市高司小学校区まちづくり協議会 平石 美佐子会長
宝塚市良元地区まちづくり協議会 中 義昭会長
宝塚市光明地域まちづくり協議会 田村 幸雄会長
宝塚市末成小学校地域まちづくり協議会 加藤 富三会長
宝塚市西山まちづくり協議会 久保田 洋一会長
まちづくり協議会コミュニティ末広 豊田 茂男代表
宝塚第一小学校区まちづくり協議会 （代理）喜多河 恭子地域交流部会会長
逆瀬台小学校区まちづくり協議会 石谷 清明会長
宝塚市すみれガ丘小学校区まちづくり協議会 川上 操代表
宝塚小学校区まちづくり協議会 喜多 毅会長
売布小学校区まちづくり協議会 （代理）笹田 光治副会長
小浜小学校区まちづくり協議会 藤本 真砂子会長
宝塚市美座地域まちづくり協議会 （代理）糸瀬 豊光副代表
安倉地区まちづくり協議会 岡本 康夫会長
宝塚市長尾地区まちづくり協議会 久保田 久男会長
中山台コミュニティ 畑中 康治会長
宝塚市長尾台小学校区まちづくり協議会 松原 孝彦会長
宝塚市西谷地区まちづくり協議会 二井 久和会長
宝塚市協働のまちづくり促進委員会
飯室 裕文委員、中山 光子委員、光村 正生委員
市民交流部 古家部長、上田室長、新城課長
市民協働推進課 吉岡課長、山田係長 他
健康推進課 田中課長、岸本係長
関西総合研究所 宮本 他
OM環境計画研究所 大森 他
宝塚NPOセンター 馬越
傍聴 10人

議事概要（要旨）

- 1 新座長・副座長挨拶
新座長・副座長より、就任の挨拶を行った。
- 2 宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（令和元年度・第1回）議事概要の確認
各まちづくり協議会代表者により、宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（令和元年度・第1回）議事概要の確認が行われ、ホームページへの公開が承認された。
- 3 令和元年度まちづくり協議会代表者交流会の活動について
座長より、配布資料に基づき、議事の重点項目等及びワークショップの実施について提案を行った。以下の項目について、意見等があった。
<宝塚コミュニティ・スクールについて>
・現在、すべての学校で立ち上がっているわけではない。市内で状況が様々であり、議論

するには時期尚早ではないか。

→「宝塚コミュニティ・スクール」について、議事の重点項目等にするかどうかは、座長・副座長及び市民協働推進課で協議し、検討することとした。

4 地域ごとのまちづくり計画の見直しについて

(1) 5月から6月にかけては総会時期であり、進捗状況の変化は少ないと思われるため、この場で特に報告されたいことがある方のみ報告していただいた。

概要については、以下のとおり。

【売布】

① 6/1に第1回の検討会議を開催した。まちづくり協議会の役員だけでなく、大学生からお年寄りまで、地域に住まわれている人々がメンバーになっている。第1回検討会議では、具体的な活動についても落とし込みを行った。第2回は、7月を予定している。

【良元】

① 基本目標の設定が終わり、計画を作りこんでいく段階に来ている。
② ワークショップを2つ考えている。その内の1つとして、アトム110番の制度をより活用していけるようワークショップを行う。6/28に実施予定。

【ゆずり葉】

① まちづくり計画は大体まとまっている。今後は、「見守りと福祉」「居場所づくり」の内容について、もう少し深掘していこうとする段階。地域の関係者等へ向けてアンケートを実施し、その結果をもとに年3回のワークショップを行う予定。

(2) 今後のスケジュール

配布資料に基づき説明。

(3) まちづくり計画書(完成版)の印刷について

市民協働推進課より、まちづくり計画書(完成版)の印刷について、令和2年度に一定部数印刷後、各地域へお配りする旨報告を行った。部数については、予算の関係等もあるため、未定であるが、決定次第ご連絡を行うこと、また、ポータルサイトにおいて掲載予定である旨説明を行った。

5 まちづくり協議会を条例で位置付ける取組について

宝塚市協働のまちづくり促進委員会委員及び市民協働推進課より、配布資料に基づき、宝塚市協働のまちづくり促進委員会において審議をしている新たな条例素案について説明を行った。

説明後、以下のとおり、意見等があった。

【意見概要】

① 素案第7条にある「透明性を持ち、民主的で開かれた運営を行う」とあるが、この部分を具体的に解説するようなものが必要ではないか。

→市：平成29年5月に策定した「宝塚市まちづくり協議会ガイドライン」で運営に大切な4つのポイントが記載されている。こちらを参考にしていきたい。

② 素案第4条「まちづくりの推進」が記載されることによってどう変わるのか。

→市：新たな補助金や制度を設けるということではないが、現在ある補助金制度を有効に活用し、必要があれば、よりよい形に変えていきたいと考えている。

③ 素案第4条2にて「その活動に要する費用の助成その他の財政支援を行うことができる」とあるが、今までは条例でこのような規定はなかったのか。

→市：市の要綱や取扱規則にて基準を定めていた。

④ 素案第7条にある「透明性を持ち、民主的で開かれた運営を行う」とあるが、今後、二院制について明文化する予定はあるのか。

→市：必ずしも「二院制」をとることが民主的な運営になるということではなく、

- 「二院制」を取らずとも民主的な運営をしているところもある。
- ⑤ 素案第5条に「自治会を中核」とあるが、まちづくり協議会は何をするのか。
→市：自治会だけでは対応が難しい広域的な課題に対処するためまちづくり協議会が組織化されている。
- ⑥ 自治会は条例化されずにまちづくり協議会だけ条例化されるのは不公平ではないか。
→市：まちづくり協議会は、市が地域に呼びかけて作っていただいた組織であるにもかかわらず、これまで根拠規定がなかった。自治会は、以前から自主的に活動されている団体であるため、条例で規定することになじまないと考えている。
- ⑦ 自治会の組織率が低い地域にとっては、「自治会が中核」という文言に違和感がある。地域全体でまちづくりをしていることの意識付けの広報も必要ではないか。
→市：まちづくり協議会の認知度が低いのは課題であるため、条例策定を進める中で、自治会の役割やまちづくりの協議会の役割をより周知していきたい。また、市内の自治会加入率が低いところにとっては、「中核」と言われても違和感があると思う。ただ、市民にとって、一番身近な住民組織は「自治会」ということから「中核」とさせていただいている。
- ⑧ 「地域の課題についてまちづくり協議会がすべて引き受ける」ということはなく、自治会の存在がないと成立しない。自治会の重要性は理解した上で、「協働でやろう」という条例素案であるということを皆が理解しないといけない。
- ⑨ 全市民が構成員というのはいいことだと思うが、実際にまちづくり協議会の活動に参加していない自治会への対応を市としてどうするのか。「条例は市が作る法律」とのことであるが、法律ということはこれに対する責任がある。市民が理解できるのかというところがポイントだと思う。
- ⑩ 今回の条例策定は、市民一人ひとりに理解してもらう過程の中で市民がまちづくりに参加するチャンスであると考えられる。
- ⑪ 形だけの条例にならないよう、市民が理解でき、まちづくりに協力できるような条例にしてほしい。
→市：市民の皆様にしっかり理解いただき、活きる条例となるよう、職員も肝に銘じて取り組んでいく。

6 宝塚市健康づくり推進員制度及び推進員の推薦依頼について
健康推進課より、配布資料に基づき、宝塚市健康づくり推進員制度及び推進員の推薦依頼について説明を行った。

7 市民協働推進課からのお知らせ

下記(1)～(8)について、資料を用いるなどして周知した。

- (1) 新年度まちづくり協議会推薦委員について
- ・宝塚市総合計画審議会委員 宝塚第一小学校区まちづくり協議会
 - ・障害者週間記念事業実行委員 中山台コミュニティ
 - ・宝塚市奨学生選考委員会委員 宝塚市長尾地区まちづくり協議会
 - ・「第15回宝塚ハーフマラソン大会」実行委員 宝塚市光明地域まちづくり協議会
- (2) FM宝塚出演予定
- 令和元年7月2日(火) まちづくり協議会コミュニティ末広
 - 令和元年7月10日(水) 宝塚市未成小学校地域まちづくり協議会
 - 令和元年7月12日(金) 宝塚市良元地区まちづくり協議会
- (3) 市民と市長のテーブルトークについて
- (4) まちづくり協議会会計担当者会の日程等について
- (5) 地域活動きずな研修「令和元年度若手職員行事参加調整表」について
- (6) 市民活動促進支援事業について
- (7) ふれあいトーク(出前講座)について

(8) 兵庫県「2019年度県民まちなみ緑化事業」について

8 その他

9 今後の日程

次回日時：令和元年（2019年）7月10日（水）14：00～16：00

場 所：市役所3階 3-3 会議室